

山口情報芸術センター [YCAM]

## やまぐちアートコミュニケータープログラム2023:架空の学校 ART TEMPO RALLY(アート・テンポ・ラリー)

2023年10月27日(金)～11月5日(日)  
山口市中心商店街(合計7カ所)

### アートコミュニケーターがつくる、山口市ゆかりのアーティストによるまちなか展覧会！

山口情報芸術センター [YCAM] では、過去に山口市で作品を発表したことのあるアーティストや現在も山口市を拠点に活動するアーティストなど、山口市にゆかりのある3名のアーティストの展覧会「ART TEMPO RALLY (アート・テンポ・ラリー)」を山口市中心商店街8箇所で開催します。

本展は、アートや学びに関する人材育成プロジェクト「やまぐちアートコミュニケータープログラム2023:架空の学校『アルスコーレ』」の一環としておこなう、参加メンバーが主体のプログラムです。メンバーはアーティストの活動と伴走しながら、展覧会の企画から展示作品の選定、実施までをおこないます。

それぞれ、年代やバックグラウンド、表現手法の異なる3名のアーティストの作品を、山口市中心商店街の個性豊かな商店7カ所で展示します。まち歩きを楽しみながらアートに触れる本展を通じて、新しい街の魅力、そして生活における山口らしいアートの新しいあり方を提案します。ぜひこの機会にご参加ください。



商店美術館「明治堂」(2022年/撮影:谷康弘)

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

[お問い合わせ]

山口情報芸術センター [YCAM] 学芸普及課

〒753-0075 山口県山口市中園町7-7

TEL: 083-901-2222 メールアドレス: [press@ycam.jp](mailto:press@ycam.jp) ウェブサイト: [www.ycam.jp](http://www.ycam.jp)

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。



## 日常の余暇（スコーレ）を楽しむための技（アルス）を育む学びの場



「架空の学校『アルスコール』」のイベントのひとつ「んゼミ vol.2」  
(2022年／撮影：塩見浩介)

YCAMは2003年の開館以来、メディア・テクノロジーを用いた新しい表現と鑑賞者をつなぐため、研究開発プロジェクトや作品制作の過程で得たテクニックや知見、開発したソフトウェア／ハードウェアなどを応用して、教育プログラムを多数開発／実施してきました。また並行して、メディア・テクノロジーが持つ可能性を応用して、地域課題の解決や、地域資源の活用につながる取り組みも模索しており、こうした取り組みを主体的に推進することができる人材の育成にも取り組んでいます。

YCAMでは山口市中心市街地を拠点にアートや学びに関するイベントの企画制作に携わる人材を育成するプログラム「やまぐちアートコミュニケータープログラム」を2021年度より開始。3年目となる2023年は、プログラム・ディレクターの三宅航太郎と山城大督により、プログラム全体とそれが展開される「まち」を架空の学校に見立て、学びと交流の時間と空間を創出しています。公募で集まった中学生からシニアまでの幅広い世代のメンバーとともに、アーティストとの作品制作や地域の中に新しい交流拠点をつくるプログラムなどを多数実施しています。

今回開催する展覧会「ART TEMPO RALLY」は、こうした取り組みから生み出された展覧会です。

### プログラム・ディレクター

三宅航太郎（みやけ・こうたろう）

1982年生まれ。鳥取県在住。アーティストとして活動したのち、2012年合同会社うかぶLLCを設立。カフェを併設した二つの宿を10年間運営。またグラフィックデザインをベースに、コミュニティのデザインやブランディングなど、県内外の文化的なプログラムに関わる。2022年、個人事務所「MAA」として独立。

### 企画・制作

Twelve Inc.

美術家、映像作家の山城大督が代表を務め、アートマネージャーやビデオグラファーからなるアーツプロダクション。京都府を拠点に、全国各地で映像制作やジャンルレスなアートプロジェクトの企画制作・アートプロデュースをおこなう。

## 見慣れた店舗 (TEMPO) が美術館へ、めぐる (RALLY) 人にも暮らす人にも新しい発見を



商店美術館 (2022年/撮影:谷康弘)

今回開催する「ART TEMPO RALLY」は、山口市出身で現在も山口市を拠点に活動するアーティスト、山口新進アーティスト大賞の受賞者、10年前に同商店街で作品を発表したアーティストなど、それぞれ異なるかたちで山口市とゆかりのあるアーティスト3名が、平面作品からアートプロジェクトまで幅広い手法の作品を、山口市中心商店街の店舗7箇所で開催します。本展は、アートに関心を持つ一般市民から構成される「やまぐちアートコミュニケータープログラム」の参加者(やまぐちアートコミュニケーター)が主体となって、企画から実施までをおこなっている点に特徴があります。

やまぐちアートコミュニケーターが3名のアーティストそれぞれとチームを組み、創作のプロセスに伴走しながら、それらを商店街を普段利用する地域の住民や店主に届けるための工夫を思案し、ひとつの展覧会という形に作り上げていきます。こうしたプロセスを背景に、本展では作品を展示し、鑑賞するだけでなく、作品をより多面的に理解するための機会として、作品を深く鑑賞するための「ギャラリートツアー」といった関連イベントも実施します。

### 出展作家 (五十音順)

#### ■ コサカダイキ (こさか・だいき)

山口県生まれ、在住。南陽工業高校を卒業後、マツダ(株)に就職。入社5年目にして乗り物が好きで描き始めたイラストを中心にイラストレーターとして2018年の夏に22歳で独立をする。現在は主に個人様からのイラストレーションオーダー、広告、雑誌、等のイラストを手がける。乗り物イラストを得意とし、水彩で暖かく優しい、デジタルでかっこいいを提供している。第12回やまぐち新進アーティスト大賞受賞。

#### ■ 西尾美也 (にしお・よしなり)

1982年奈良県生まれ、東京都在住。美術家。東京藝術大学美術学部先端芸術表現科准教授。装いの行為とコミュニケーションの関係性に着目したプロジェクトを国内外で展開。ファッションブランド「NISHINARI YOSHIO」を手がける。2013年には「YCAM10周年記念祭公募企画展示 LIFE by MEDIA」に参加し、山口市中心商店街の空き地(当時)で、古着を使った参加型インスタレーションの「PUBROBE」を発表した。

#### ■ 吉田朱里 (よしだ・あかり)

1990年山口県生まれ、在住。美術家。2012年山口芸術短期大学専攻科陶芸専攻修了。「自分を知りたい」というシンプルな思いから作品を制作している。見た物や事を、自分フィルターを通して表現することで「自分とは?」と、自問自答を繰り返す。モチーフとして描く対象物は、その疑問のキャッチボールをしてくれるもう一人の自分として存在している。2014年自由美術協会展平面部 新人賞受賞。2019年、20年 山口県美術展覧会 入選。

## 開催概要

**ART TEMPO RALLY (アート・テンポ・ラリー)**

2023年10月27日(金)～11月5日(日)

10:00～17:00 入場無料

## 作品展示店舗

コサカダイキ

- ・mambo (米屋町2-35)
- ・und☆star (道場門前1-2-25)
- ・Quemacocos (米屋町1-8 グレイステラス米屋町1F)

西尾美也

- ・Beats Base (道場門前1-2-22)
- ・MARUYA SPORTS / Triple Double (駅通り1-7-7)
- ・men's マエダ (道場門前2-4-7)

吉田朱里

- ・無印良品 山口店 (道場門前2-4-14 1F)

※開館時間と休館日は各店舗の営業時間に準じます

## 関連イベント

## ギャラリーツアー

2023年10月28日(土) 11:00～12:00

2023年10月29日(日) 15:00～16:00

集合場所：申し込み者に個別連絡

参加無料※要申込

主催：山口市、公益財団法人山口市文化振興財団

後援：山口市教育委員会

技術協力：YCAM InterLab

企画制作：やまぐちアートコミュニケータープログラム2023実行委員会  
(山口情報芸術センター [YCAM]、Twelve Inc.)

第3期 山口市中心市街地活性化基本計画 アートでつなぐまちの活性化事業

## 関連イベント

**やまぐちアートコミュニケータープログラム2023: 架空の学校「アルスコーレ」  
オープンスコーレ2023**

商店美術館出展アーティストをゲストにむかえたトークイベントのほか、アルスコーレ参加メンバーの企画によるワークショップや勉強会を実施します。詳細はウェブサイトをご確認ください。

2023年10月29日(日) 10:30～17:00

山口市中心商店街 入場無料(一部プログラムは要申込み)

## ■ 申込方法

ウェブサイトからお申し込みください。

ウェブサイト:

[www.ycam.jp](http://www.ycam.jp)